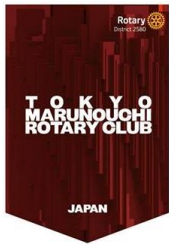


東京丸の内ロータリークラブ

2022年1月19日 第92回 例会プログラム



T O K Y O
MARUNOUCHI
ROTARY CLUB



Now...let's act!
「さあ、行動しよう！」

2021-22年度 クラブ会長
Club President
古山真紀子 Koyama Makiko

“SERVE TO CHANGE LIVES”

2021-22 国際ロータリー会長
ジェカール・メータ
2021-22 RI 第2580 地区ガバナー
若林 英博



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

第92回 例会議事録

【式次第】12:00～13:00

1. 司会進行 寿原 裕美子 会員
2. 開会点鐘 古山 真紀子 会長
3. ロータリーソング 「手に手つないで」
4. ゲスト紹介 逸見 圭朗 会員
NPO 法人ねりまねこ 理事長 亀山 知弘様
副理事長 亀山 嘉代様
5. ニコニコ報告 尾崎 由比子 会員

・東京丸の内 RC 創立会長 尾崎 由比子 会員
亀山様、本日の卓話、楽しみにしております。
ミッシェルさん、ご入会おめでとうございます。

・同、藪口 慎太郎会員(メッセージなし)

6. 新入会員の入会式

- ・尾崎 由比子会員が清水 ミッシェル様を紹介。
- ・古山 真紀子会長が入会式典を実施。
- ・丸の内 RC に入会できて嬉しい。ボランティア活動が好きなので活躍したい(清水 ミッシェル新会員)

7. 会長挨拶 古山 真紀子 会長

・本日は清水 ミッシェル会員を新しい仲間を迎え、逸見会員を含め会員が二人増えて嬉しい。プロフェッショナルで人柄の良いお二人は丸の内 RC に新しい力をもたらしてくれると期待。

・清水新会員のメンターに尾崎会員と藪口会員、逸見新会員のメンターに吉田会員と光行会員を任命。

・知り合いや顔見知りを増やすと奉仕活動も楽しくなる。第2580地区のワークショップ、イベントにはできるだけ積極的に参加してほしい。

・新しい奉仕活動のヒントを見つけたら、丸の内 RC にそのアイデアをフィードバック。

・皆の豊かな才能をロータリー活動に生かせば、自分自身にも資するものがあると確信。

・5/25 例会卓話者は竹本治(ソーシャル・コモンズ代表)に決定。

・地区大会、千代田 6 クラブ合同例会が開催予定。千代田合同例会は、千代田区にある 6 クラブが東京 RC のお声かけにより帝国ホテルに一堂に会するレアな機会。

・ロータリーは奉仕を行う組織だが、親睦も必要。

・2/19「新春 張さんと行く米山梅吉記念館&うなぎの会」日帰り旅行を予定。出欠を乞う。

・奉仕活動が新型コロナの感染拡大に影響されていることは残念だ。丸の内 RC でも感染を警戒しつつも何か進捗を期待。

・本日は、「まん延防止」が適用されている中、NPO 法人ねりまねこ 亀山知弘理事長、亀山嘉代副理事長にお越しいただき感謝。

・かねてから動物保護や動物愛護の話しを聞きたいとい会員の声があり本日の卓話を楽しみにしている。

・2/7 麴町 RC にメーキャップに行く予定。12月の夜例会に出席された吉田氏が歓迎してくださるとの事。麴町 RC は若林ガバナーの所属クラブで、中高年男性の伝統的な RC ではないかと想像しており、出欠を乞う。

8. 米山奨学金授与 光行 順子 会員

9. 「ロータリーの友」 光行 順子 会員

・「ロータリーの友」1月号 p.12～13 に掲載された職業奉仕関連記事「犬猫譲渡活動 46年—コロナ禍のペットブームについて」感想が述べられた。

・本日の卓話と、一人のロータリアンの動物愛護活動が「ロータリーの友」に掲載されたタイミングに偶然のめぐり合わせを感じこの記事を紹介したいと考えた次第。

創立日: 2017年7月24日
認証日: 2018年2月26日
認証式: 2018年5月28日
事務局: 東京千代田区丸の内2-3-2 郵船ビル1F
TEL: +81 3-5533-8846
E-mail: marunouchi-rc@outlook.jp(事務局: 桑原奈知子)
URL: <https://www.tokyomarinouchi-rc.com/>

例会日: 第1・第3水曜日
12時00分 - 13時00分
例会場: 東京千代田区丸の内2-1-1 明治生命館 B1F
センチュリーコート丸の内
(covid-19の期間中はオンライン例会の可能性あり)
会長: 古山真紀子 幹事: 鷲澤充代

- ・当月はロータリー職業奉仕月間。
- ・横浜旭 RC 兵藤 哲夫会員は獣医という職業を通じ 46 年間、毎月 1 回、自ら経営する動物病院を開放し身寄りのない犬猫譲渡活動を続け、5,000 頭以上の犬猫に新しい家族を見つけた。
- ・行き場を失った犬猫の命をつなぐという尊い動物愛護活動は、まさに RC が掲げる職業奉仕のロールモデル。
- ・RC がサポートしている動物愛護活動を紹介。
- ・例えば東京 RC はセラピードッグについて卓話を実施。和歌山 RC は動物愛護管理センターを訪問。水戸東 RC は動物愛護センターに動物用スピーカー一体型聴診器を寄贈。
- ・兵藤氏から職業奉仕についてインスピレーションをいただいた。兵藤氏のように職業奉仕を実践し高潔な人になれるよう努力したい。
- ・動物愛護活動を心から応援したい。

10. 委員会活動報告 尾崎 由比子 会員
奉仕プロジェクト委員長

・シトラスリボンプロジェクト、しばらく停止していたが、このほど再開された。近隣のロータリークラブにも参加を呼び掛けた上で、発注する。シトラスリボンの寄贈先を共に考えていただきたい。

11. 卓話 「現代ペット問題と対策」

NPO 法人ねりまねこ 副理事長 亀山 嘉代様

- ・自己紹介—東京都動物愛護推進員、練馬区地域猫推進ボランティア
- ・2010 年より行政と協働で地域猫活動を推進。
- ・様々な猫問題を解決するため、全国で講演・セミナーを実施、SNS やメディア取材等で広報啓発を実施。
- ・捕獲し不妊去勢手術した猫の数は 2 千匹超。
- ・ボランティアを始めたきっかけは、餌を与えた子猫がまた子猫を生んだ由。
- ・現在、日本のペット数は 15 歳未満の子供の数より多い。
- ・野良猫問題は全国共通。
- ・野良猫の発生源は無責任な住民たち。
- ・不妊、去勢手術 (TNR) をしないから猫は増加。
- ・野良猫問題は地域社会で解決すべき。
- ・地域活動とは、住民・ボランティア・行政が協力し、飼い主のいない猫が暮らしやすい街づくりを目指す活動。
- ・TRN と適正管理で徐々に野良猫の数を減らす。
- ・飼い猫と野良猫の適正飼育が対策の二つの柱。

- ・飼い主の 7 か条、ルールやマナーを守り周囲に迷惑をかけない。ペットの命を預かる責任を果たすべき。
- ・虐待問題—トラバサミにかかった猫。
- ・高齢者の飼育放棄問題。
- ・多頭飼育崩壊と 11 匹レスキュー猫たち。
- ・動物愛護管理法について—愛護動物を虐待したり捨てたりすることは犯罪。
- ・猫の引き取り—野良猫の赤ちゃんが最大の問題。
- ・殺処分問題—東京都は殺処分ゼロを達成 (平成元年度)。
- ・ペット産業問題—劣悪な環境で飼育。
- ・余剰犬猫問題—ペット産業、一般飼い主、野外で繁殖する野良猫を減らさない限り解決は不可。
- ・愛護団体に任せ過ぎるとボランティア団体が多頭飼育崩壊する危険性が存在。
- ・東京都動物愛護相談センターの譲渡条件。
- ・社会をかえる—1 人で 100 匹を TRN/保護するのではなく 1 匹を TRN/保護できる人を 100 人育成。
- ・メディア取材 WEB・新聞雑誌・テレビ出演—NHK-BS 「ねこ育て、いぬ育て」
- ・高齢・貧困・孤立でペット問題は深刻化。周囲が強くなり弱者を支える仕組み作りが不可欠。
- ・飼い主募集中の猫を紹介。

12. 今後の予定 古山 真紀子 会長

- ・本日の卓話は大変勉強になった。
- ・このような修羅場だとは知らなかった。
- ・多頭飼育崩壊はテレビで見ても知っているが、餌やりが、いけないと思っていた。
- ・ギリシャで楽しく住む猫たちの様に日本でも地域で猫を見守るのが望ましい。

2月2日 第93回例会 12:00~13:30	ゲストウェルカムデー・オープン例会 高橋 由珠 会員 「開運:今年1年の運勢」
2月16日 第94回例会	通常例会:文京学院大学 教授 池袋 RC 副会長 小泉 博明 氏 「講談と私」
3月2日 第95回例会	通常例会:元国際連合開発計画職員 田中 美樹子 氏 「イエメン内戦における人々」

13. 閉会点鐘 古山 真紀子 会長
14. 写真撮影

以上

光行(作成)